

## 参 考 资 料

---



## 【参考資料1】

### 福井の道づくり懇話会

「道路の将来ビジョン」の改定にあたり、県内の有識者や各界・各層の代表からなる「福井の道づくり懇話会」を設立し、意見を伺いながらビジョンを策定しました。

#### 委員名簿

	氏名	役職
座長	南 保 勝	福井県立大学地域経済研究所 所長
座長代理	川 本 義 海	福井大学学術研究院工学系部門 教授
	清 水 則 明	(一社)福井県自動車会議所 会長
	杉 本 博 文	池田町長、福井県道路協会 会長
	高 見 和 宏	(一社)福井県商工会議所連合会 専務理事
	長 谷 川 美 香	福井大学学術研究院医学系部門 教授
	原 田 陽 子	福井大学学術研究院工学系部門 准教授
	水 上 聡 子	アルマス・バイオコスモス研究所 代表
	三 寺 潤	福井工業大学環境情報学部 教授
	山 田 義 彦	(公社)福井県観光連盟 会長

※役職は、懇話会開催時のもの

#### 開催経過

第1回	令和2年 8月 6日	(1)福井の「道路の将来ビジョン」の改定について (2)福井の道路をとりまく状況について
第2回	令和2年10月 7日	(1)第1回懇話会の意見と県民アンケートの結果について (2)道路の将来ビジョンの論点について
第3回	令和2年11月18日	(1)道路の将来ビジョンの骨子(案)について
第4回	令和3年 2月 3日	(1)「道路の将来ビジョン」(案)について



福井の道づくり懇話会

「福井の道づくり懇話会」における主な意見

	主な意見	基本方針
道路ネットワークの重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部縦貫自動車道や国道 8 号など骨格となる道路の整備</li> <li>・ ミッシングリンクの解消</li> <li>・ 防災や観光振興のため横に繋ぐ道づくり</li> <li>・ 駅から幹線道路へのアクセス向上</li> <li>・ 産業道路と生活道路の区分け</li> <li>・ 小さい産業（暮らしに密着した産業）への配慮</li> <li>・ 渋滞解消や、道路の走りやすさの向上 （ボトルネックの解消や右折レーンの整備）</li> <li>・ 市町や県、国の領域を超えての広範囲な連携強化</li> </ul>	<p>1 広域交流の拡大</p> <p>2 産業・観光の活性化</p>
多様性のある道路空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して歩ける道路</li> <li>・ 散歩や、自転車での移動が楽しめる空間 （スローモビリティ、健康づくりの視点）</li> <li>・ 美しさや心地よさ（遠まわりしてでも通りたくなる道路）</li> <li>・ 景観づくり（デザイン性を持ったシンボルとなる道路）</li> <li>・ 多目的利用ができるよう柔軟性のある道路整備</li> <li>・ 水辺空間、公共空間、沿道とのつながりを持たせる （地域にあったみちづくり）</li> <li>・ まちづくりと一体となって、賑わいを創出</li> <li>・ 公共交通機関と連携した道路整備</li> </ul>	<p>3 幸福度 日本一の生活基盤</p> <p>5 魅力ある道路空間の創出</p>
道路保全の重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害に強い道路（救援・支援の確保）</li> <li>・ 道路構造物の定期的な点検実施</li> <li>・ 予防保全型の老朽化対策</li> <li>・ 新しい道路の整備だけでなく、今ある道路を維持</li> <li>・ 原子力発電所立地地域としての特色ある道路整備</li> <li>・ デジタル技術活用による効率的な管理</li> </ul>	<p>4 県土強靱化と持続性</p>
県民とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民と連携した道づくり （道路に愛着を持てる取組を行う）</li> <li>・ 道路の重要性を県民にわかりやすく説明 （参画意識、維持管理意識を育てるために）</li> <li>・ 地域の人に関わることでできる仕組み・仕掛けが必要 （地域と一緒に作りあげていく）</li> <li>・ 道路予算が様々なことに使われていることを県民に P R （受益者もコスト意識）</li> <li>・ 子供たちも参加可能な「道の教育」を行う （道路を身近に感じてもらえるよう工夫）</li> </ul>	
ビジョンの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジョンは、長期的な視点を持たせる</li> <li>・ 多様化する道路の使い方を考える</li> <li>・ 敦賀港もあり、日本の中心となる強い地位を持つ可能性</li> <li>・ 国内での福井県の位置付けが大きく変わる （中部縦貫自動車道の開通によりつながりが深まる）</li> <li>・ 情報化を道づくりに活かす</li> <li>・ S D G s につなげて政策転換</li> </ul>	

【参考資料 2】

福井県の道路についてのアンケート結果

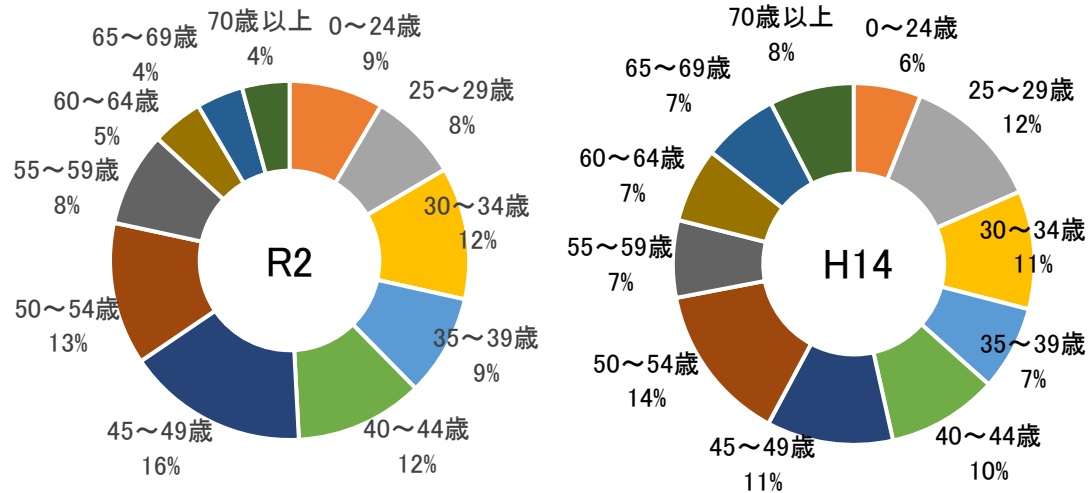
アンケート実施概要

1.	調査目的	道路に関する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とする
2.	調査項目	・道路に関する意識について ・今後の道路整備について
3.	調査時期	令和 2 年 7 月 1 日～令和 2 年 7 月 31 日
4.	調査方法	・市町役場(支所)、土木事務所、道の駅にて アンケート用紙の配布(3,000 枚)、回収 ・福井県道路建設課 HP 上インターネット回答
5.	回収結果	有効回答数・アンケート用紙 : 919 人 ・インターネット回答 : 480 人 合計 : 1,399 人
6.	その他	・道路に関する世論調査(内閣府 H28.7)に準拠 ・現行のビジョン(平成 16 年 1 月)策定時にも 同様なアンケートを実施(H14.3) ※1,363 人回答

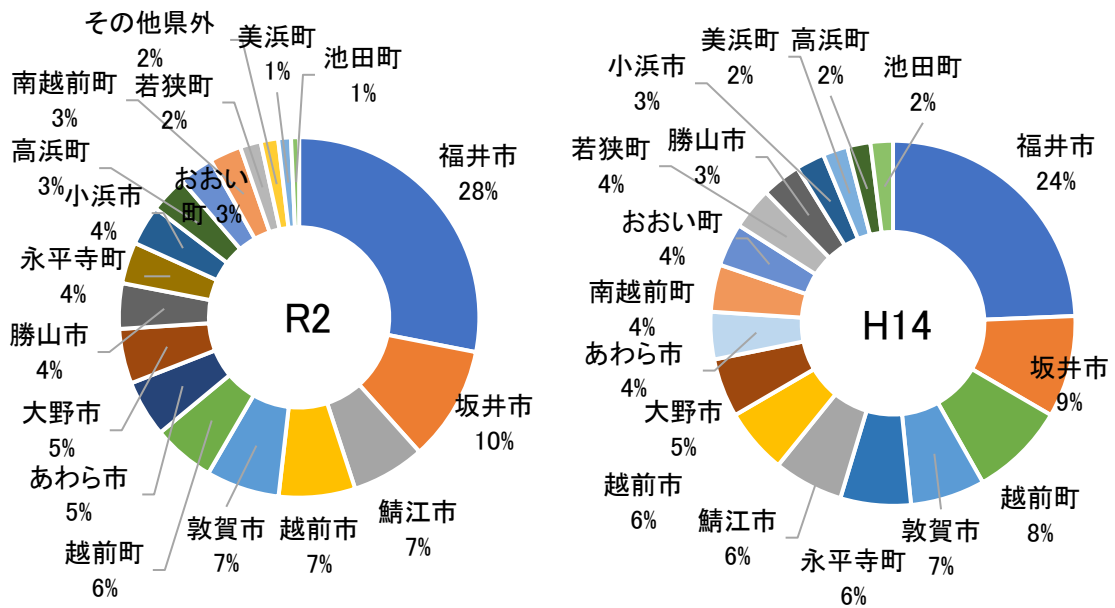
アンケート質問および回答

・問 1

年齢構成比

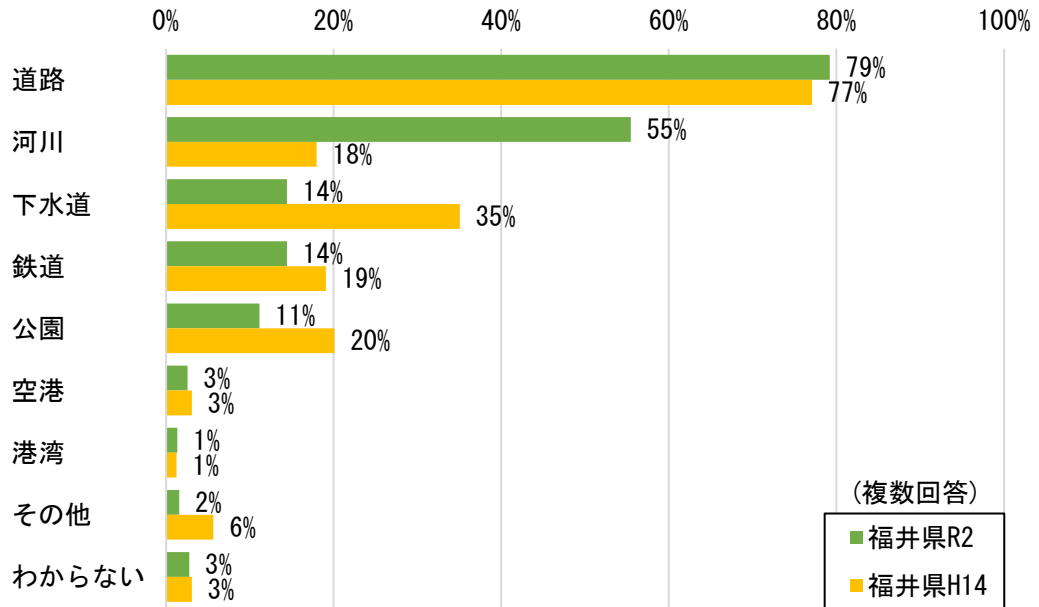


市町別構成比



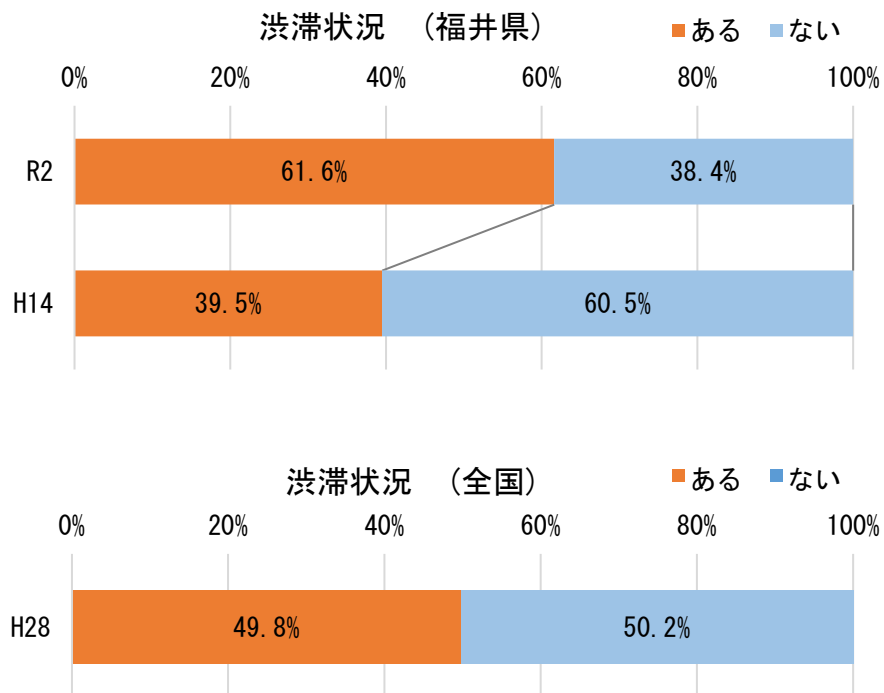
・問2 優先すべき社会基盤

社会基盤の整備により、私たちの生活環境は年々変化していますが、あなたは、優先して整備すべき社会基盤は何だと思えますか。2つまで選んでください。



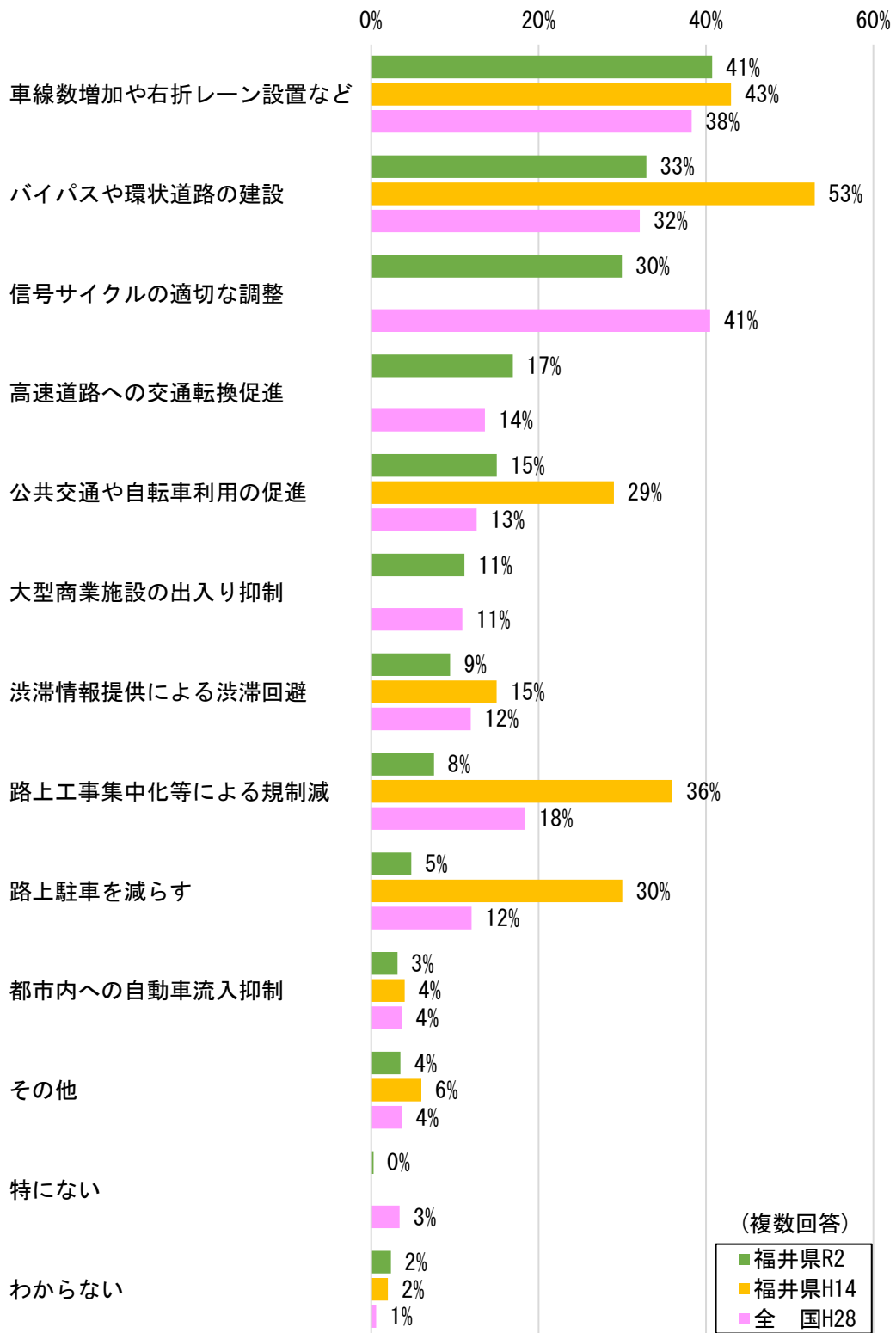
・問3 交通渋滞

あなたがいつも通る道路で、交通渋滞していると感じる所はありますか。



・問 3-1 交通渋滞解決のための道路施策

その交通渋滞を解決するためには、あなたはどうしたらよいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

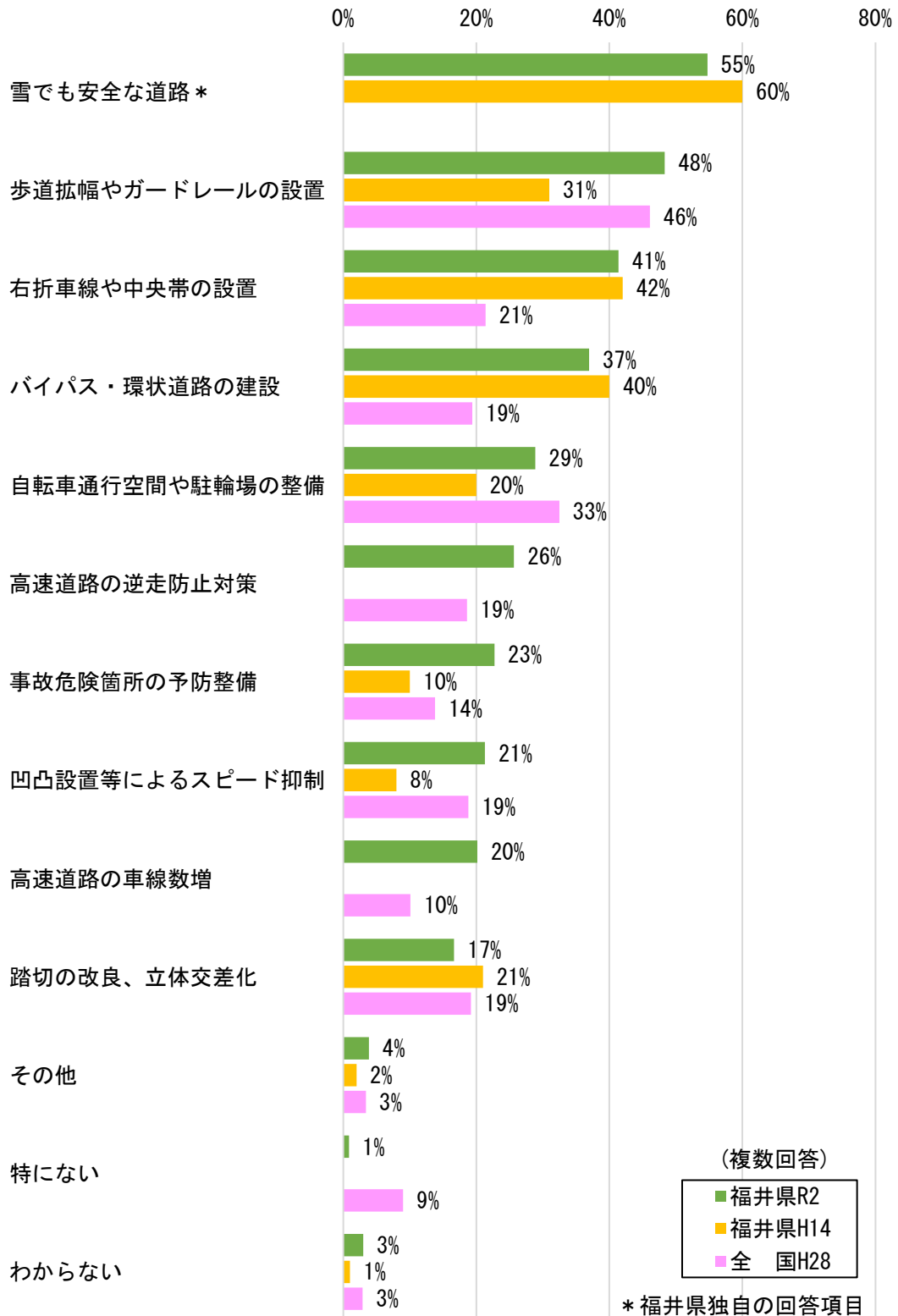


H14年時に回答項目がなかったものは空欄



・問4 道路の安全性向上のための対策

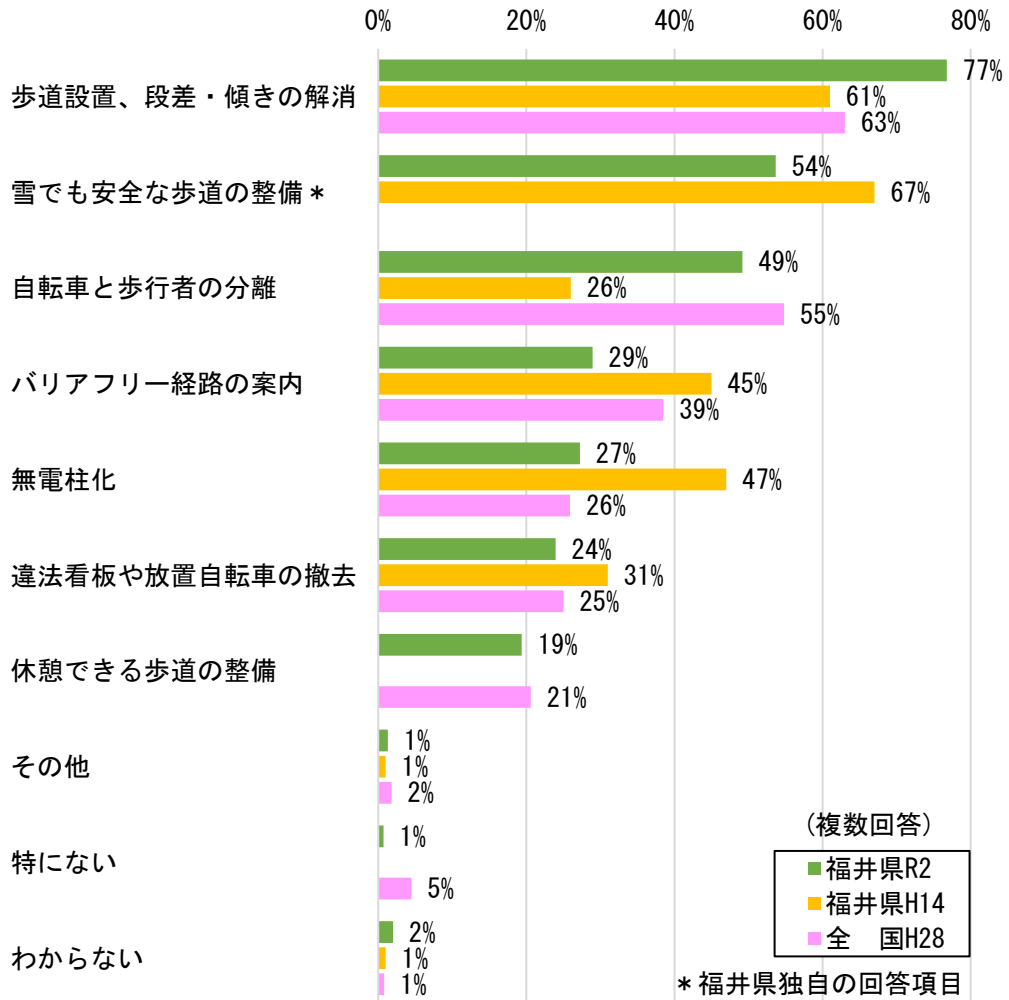
あなたは、道路の安全性向上のためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



H14年時に回答項目がなかったものは空欄

・問5 歩行者の立場から望む道路整備

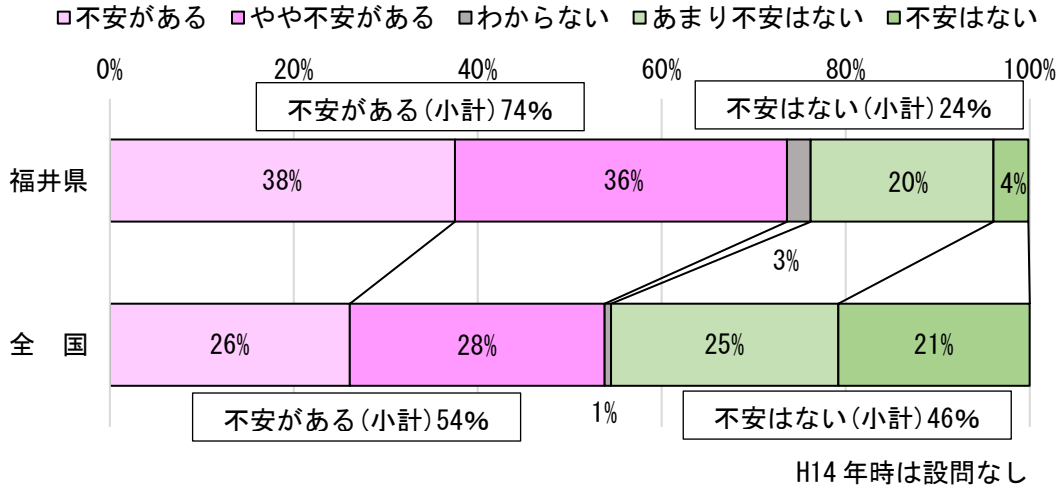
あなたは、高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



H14年時に回答項目がなかったものは空欄

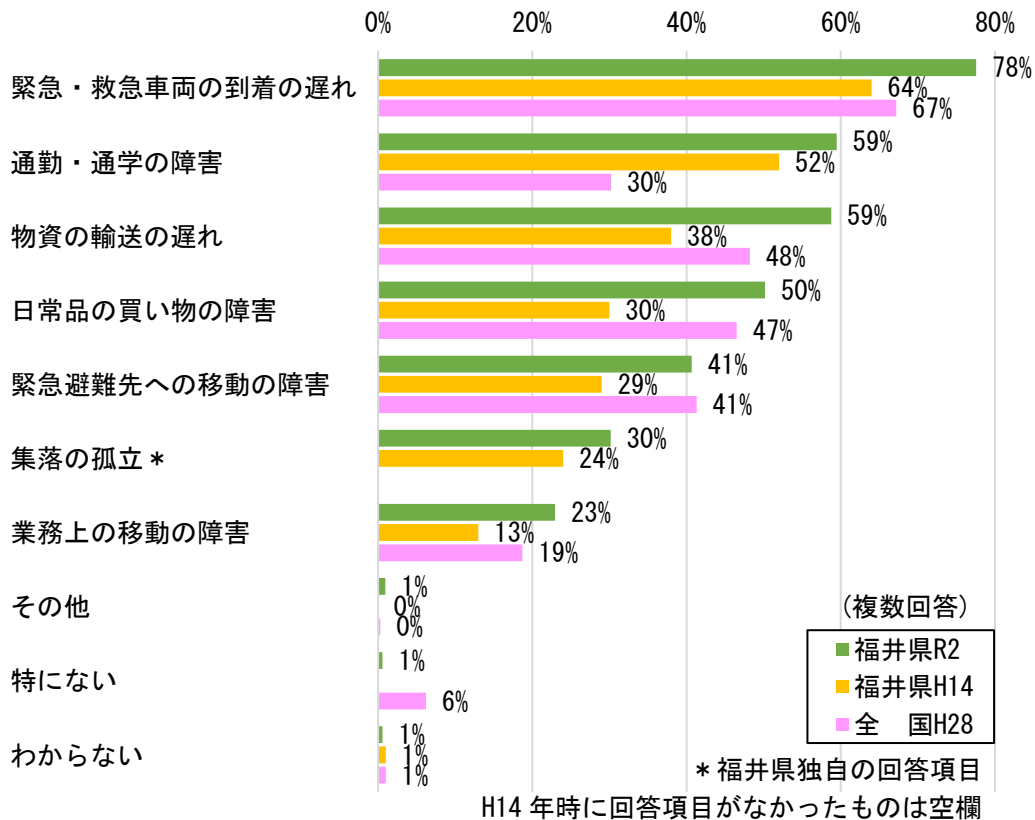
・問6 災害発生時の道路の安全性に対する意識

あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について不安を感じますか。この中から1つだけお答えください。



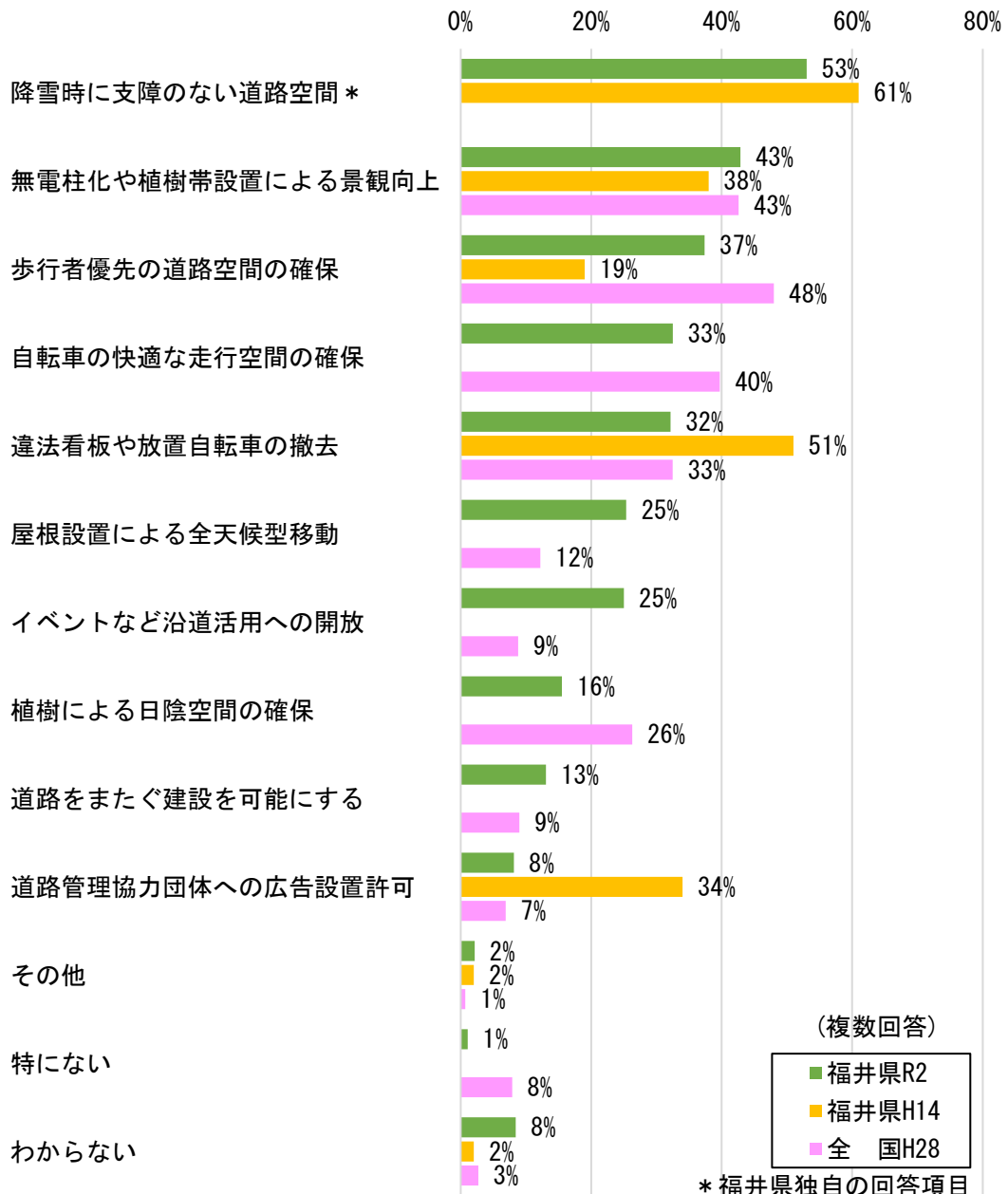
・問7 災害発生時の通行止めによる不便を感じる内容

あなたは、大地震や大雨、大雪などによる災害により、よく利用する道路が通行止めになった場合、どういふことに特に不便を感じると思いますか。この中からいくつでもあげてください。



・問 8 道路空間の有効かつ快適な活用施策

あなたは、道路空間とその沿道を有効かつ快適に活用していくためにどういったことが重要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

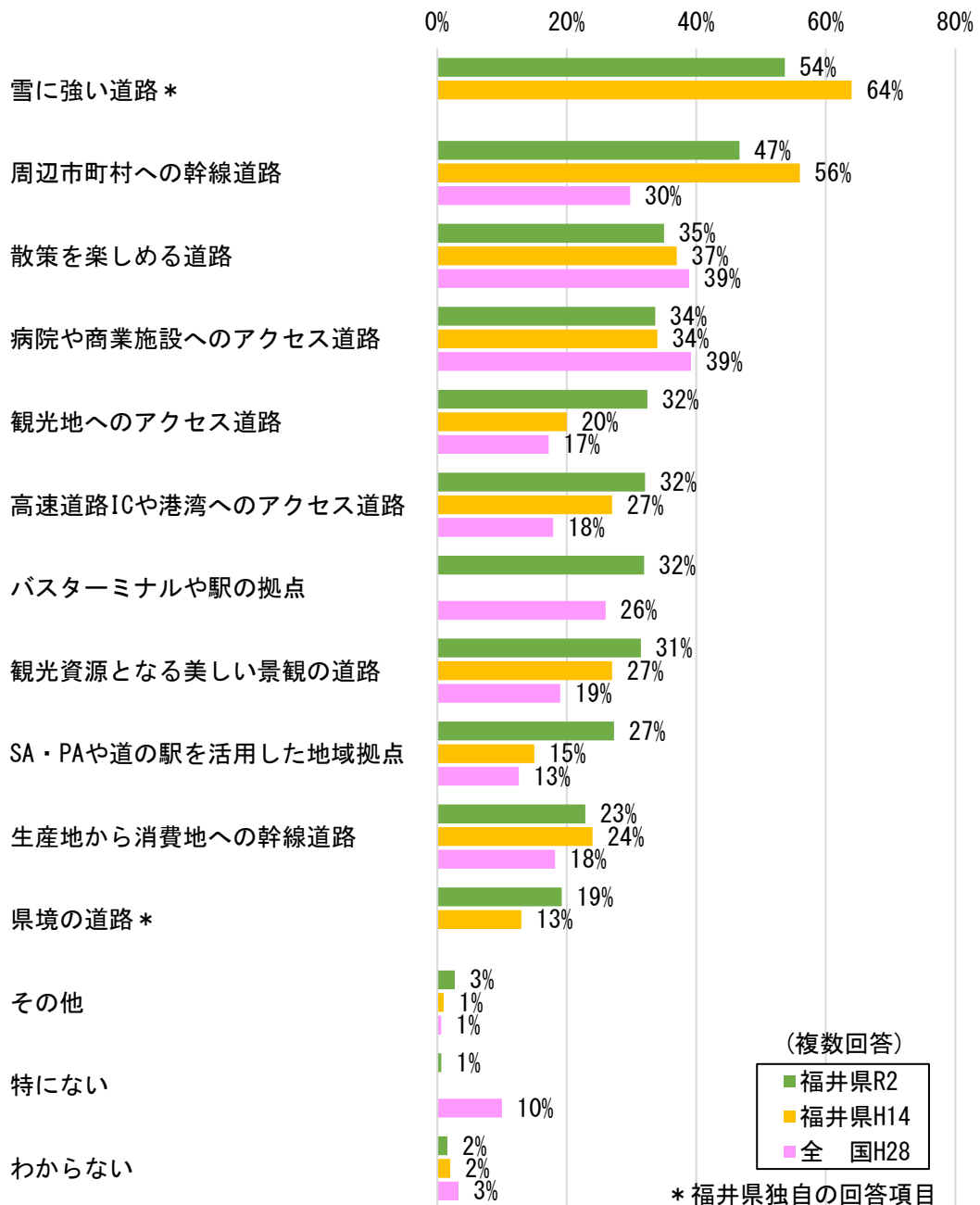


\* 福井県独自の回答項目

H14年時に回答項目がなかったものは空欄

・問9 活力ある地域づくりのための道路施策

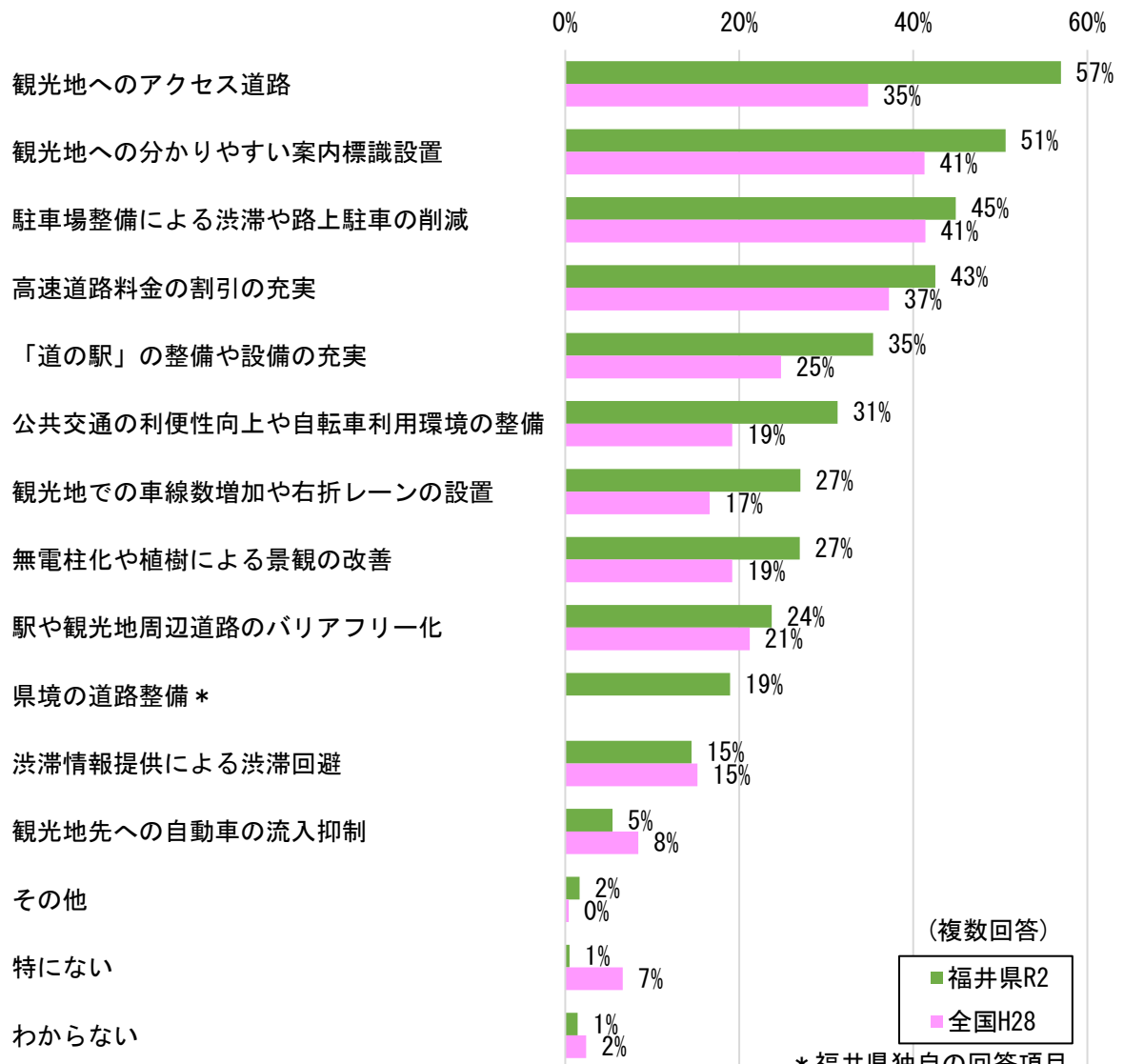
あなたは、活力ある地域づくりのために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



H14年時に回答項目がなかったものは空欄

・問 10 観光振興のための道路施策

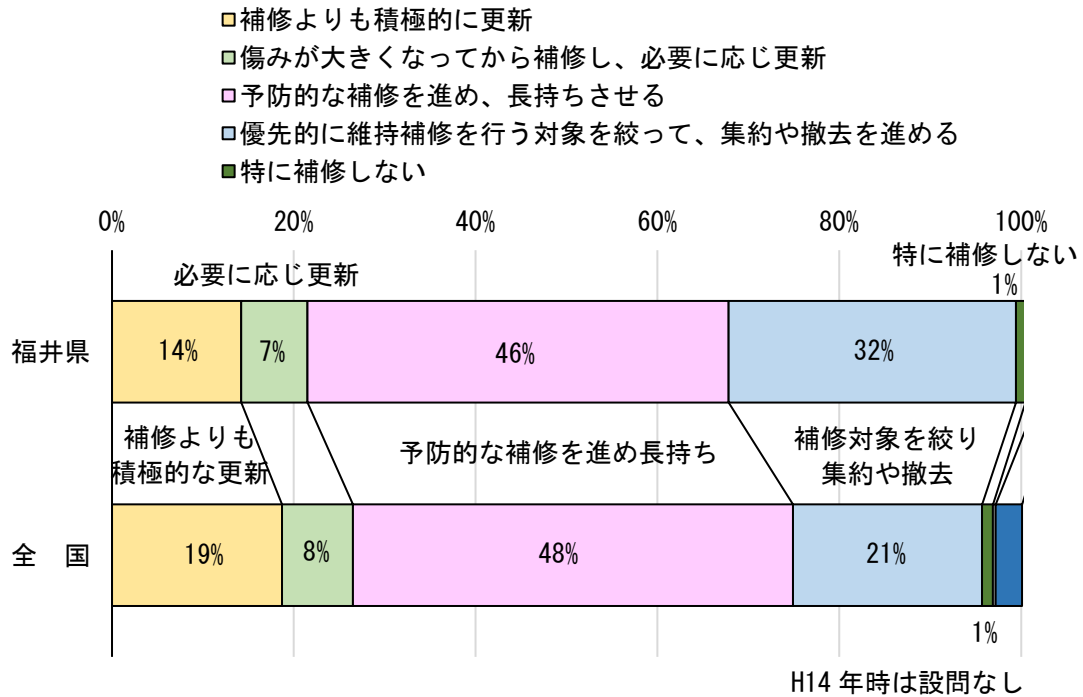
あなたは、観光振興のために、道路施策の面からどのような対策が必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



\* 福井県独自の回答項目  
H14年時は設問なし

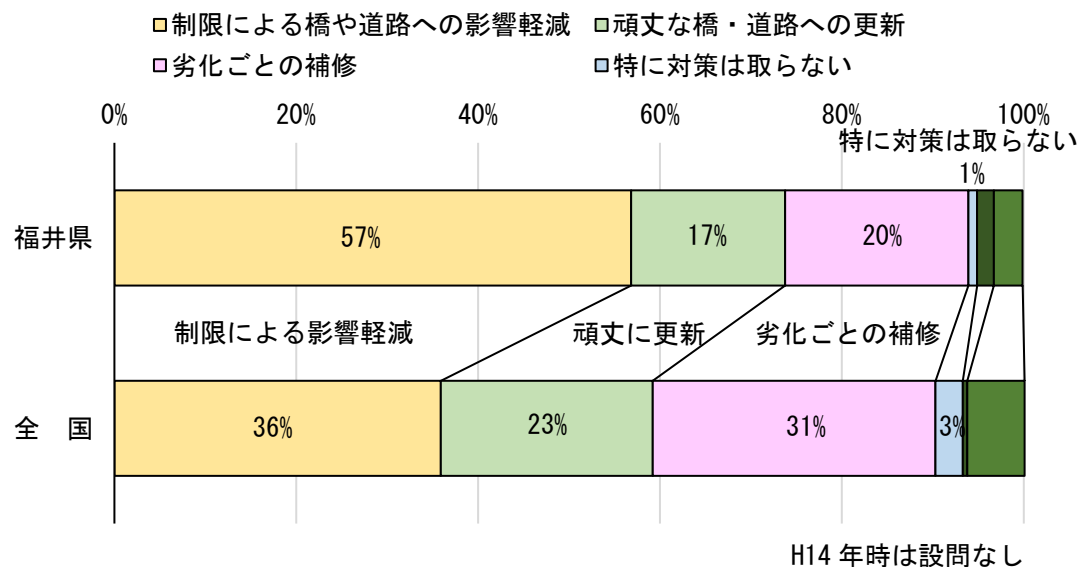
・問 11 道路構造物の維持管理、更新の考え方

高度経済成長期に集中的に整備されてきた橋などの高齢化が今後進んでいます。これらの橋などについて、どのように維持や修繕、更新を行うべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。



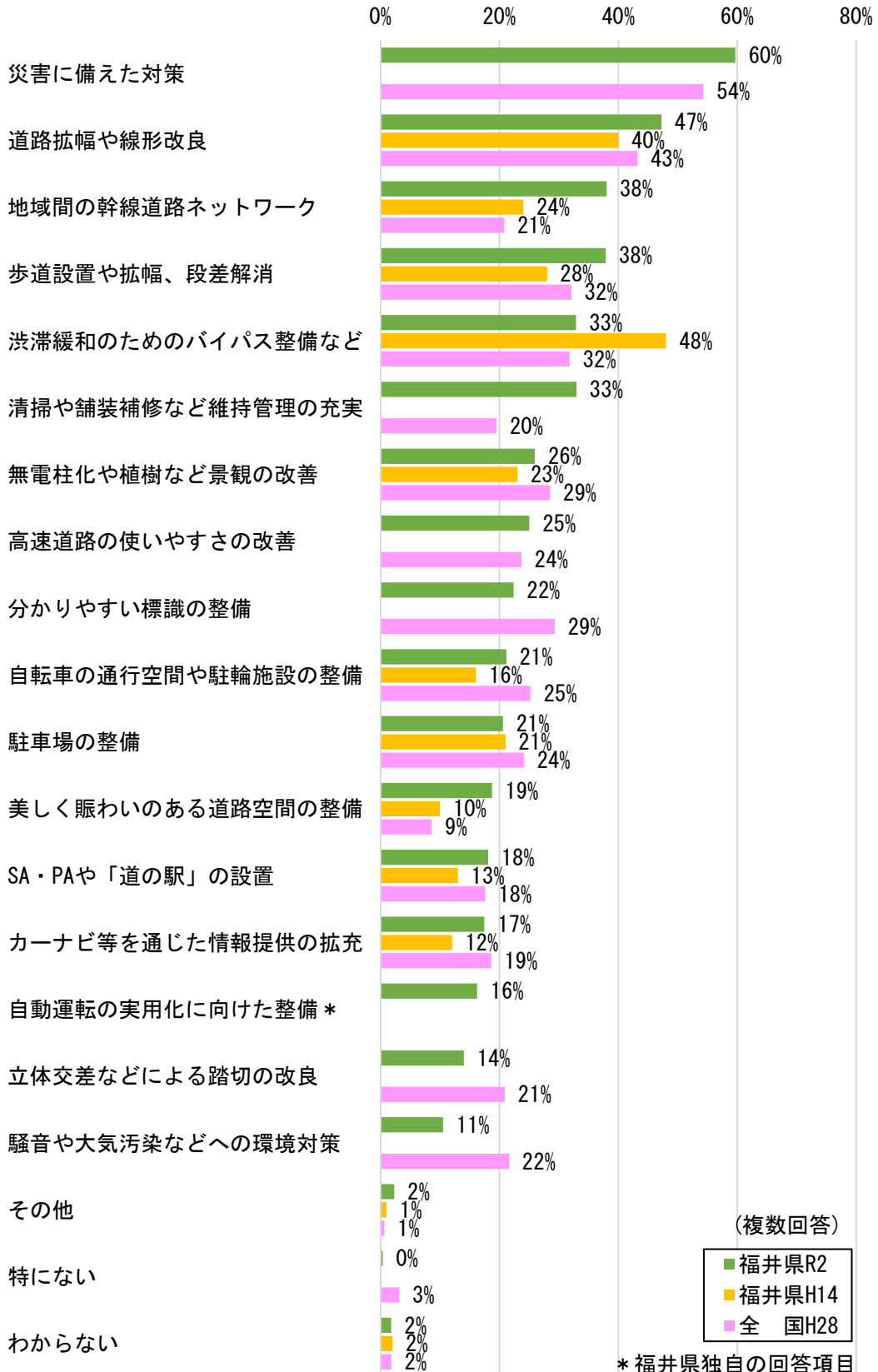
・問 12 車両の大型化に伴う橋・道路の劣化への対応

車両の大型化が進むことにより、物流の効率化やコスト削減が促進されます。その一方で、橋や道路の劣化については、重い車両の走行が、主な要因の1つとされているところです。この状況をふまえて、この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけお答えください。

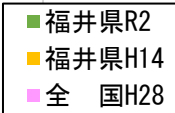


・問 13 今後、力を入れてほしい道路整備

あなたは、どのような分野の道路整備に力を入れてほしいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。



(複数回答)



\* 福井県独自の回答項目  
H14年時に回答項目がなかったものは空欄



